

# めぐみの森だより

2024年4月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448



## 進級・入園おめでとうございます



昨年度末の3月は、卒園式の2週間前より胃腸炎が流行し卒園式当日も、職員、子どもたち共に全員参加して実施することはできませんでしたが、どんな状況化でも心を尽くし、最善を尽くしてやり遂げることができ、改めて保護者の皆様のご理解、ご協力、職員の協力があったのことだったと思います。参加できなかった子どもたちとは、別の日に簡単ではありますが、卒園式を実施することができ、それも何年後かにはいい思い出になって思い出されることを願っています。

新入園のみなさま、めぐみの森保育園へようこそいらっしゃいました。新しい方々との一期一会の奇跡に感謝しつつ、丁寧に過ごしていきたいと思います。進級を迎えたみなさま、今年も子どもたちの成長を共に喜ぶことができる日々を送っていきたくておりますのでよろしくお願いいたします。



### 『つながる』

3月22日、市内の小学校の卒業式があり、めぐみの森を卒園した子どもたちが、年長時の担任に会いに来てくれました。最初に来た子どもたちはマスクを付けていたこともあり、すぐに誰なのかわからず、慌てて当時の卒園アルバムを引っ張りだし答え合わせをしました。顔と名前が一致すると、当時のことがよみがえり、体はすっかり大きくなっていましたが、中身はそんなに変わっておらず、当時の可愛い子どもたちの面影が見られました。子どもたちと一緒に保護者の方も顔を見せてくれ、卒業の喜びを保護者の方と共に迎えられ嬉しく思いました。最後に来てくださった保護者の方より、「卒業を報告できる保育園があってよかった」と言っていたいただきました。その時は、さらっと聞いていましたが、後々そう言っただけことがじわじわ心に響き、とても嬉しくなりました。

聖書には、「イエスはまことのぶどうの木」という箇所があります。“わたしにつながっていなさい。わたしもあなたにつながっている。ぶどうの枝が木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも私につながってなければ、実を結ぶことができない。”卒園した子どもたち、保護者がふと顔を見せてくれ、卒園後ほとんど関わることがなかったのですが、心はつながっていたようで、このぶどうの木の聖書箇所を思い出しました。

聖書の解釈はいろいろあり、同じ箇所でもその時々で解釈が違ったり、同じ箇所を聞いてもやけに響く言葉に聞こえたり、人によって解釈が違っていい、だから面白いと私は感じています。「イエスはまことのぶどうの木」のある解釈では、「愛とは他の人とつながれていること」と書かれていました。今年も新しい出会いがあり、卒園という別れもありますが、体は離れても、ぶどうの木の解釈のようにいつまでもつながっていたいなと思いました。



記:園長 藤本 紘子

### 《今月のおすすめ紹介》

#### 『フリクションボールペン』

すっかりみなさんも知っている、「フリクションボールペン」今更書くまでもないのですが、あえてお知らせします。まだまだアナログな私は、手書きの手帳を愛用しておりスケジュールがころころ変わるため、このフリクションが大活躍！！ハンズでは、新年度前の2月頃より、ペンに名前を入れるサービスも行っているためプレゼントにも喜ばれます。昨年度までいたK先生にも、もちろん名前入りでプレゼントしました！

